

「第2回 川内沢ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」

－ 開催概要 －

- 開催日時 平成24年5月25日（金）13:25～14:33
- 場所 岩沼市役所 大会議室
- 出席者
 - 構成員 名取市長、岩沼市長
 - 学識経験者 真野明東北大学災害科学国際研究所教授（増田川圏域河川整備学識者懇談会座長）、田中仁東北大学大学院工学研究科教授（増田川圏域河川整備学識者懇談会副座長）
 - 検討主体 宮城県土木部次長（知事代理）
- 討議概要
 1. 検討手順の概要について
 2. ダム事業等の点検について
 - ・ダム事業費は、実施計画調査中のため今後不確定要素も出てくる可能性はあるが可能な限り積み上げを行っていることを確認した。なお、事業評価の点からより精査するよう意見が出された。
 - ・比堆砂量の点検について、隣接流域の樽水ダムと地質がほぼ同じであることを確認した。なお、資料に明記することとした。
 3. 複数の治水対策案の立案（組合せ）、概略評価による治水対策案の抽出について
 - ・治水対策案の概略評価結果のコストについて、今後、具体的な数値で検討結果を示すこととした。
 - ・河川整備計画では、空港周辺も含めた計画であるためできるだけ早く具現化してほしい。
 - ・地球温暖化や自然災害、過去に仙台空港が浸水したことを踏まえ、1日も早い対応が必要であり、遊水池案では広大な農地がつぶれることなどを踏まえ、ダム案以外に対策案はない印象を受ける。
 4. 複数の利水対策の立案、概略評価による利水対策案の抽出について
 - ・治水対策案で選定された遊水池案が、利水対策案として選定されていないことについて、第1回検討の場で棄却していることを確認した。なお、棄却理由を今後、明記していくこととする。
 5. その他（パブリックコメント）について

（平成24年6月11日 事務局とりまとめ）